

皮膚科学の進歩に寄与する研究報告書

海森水と乳液やクリーム、美容液などとの併用

「海森水」などのリノール酸含有の合成界面活性剤不使用の化粧品と、合成界面活性剤が含まれている乳液やクリーム、美容液と一緒に使う場合、その影響を考慮し、使用する量を微量にすることが大切です。

リノール酸含有の合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品「海森水」と合成界面活性剤配合の乳液やクリーム、美容液などを併用する場合、以下の点に注意することで、皮膚バリアへの影響を最小限に抑え、効果的に併用することができます：

●ポイント

1. 合成界面活性剤の濃度と頻度：
皮膚バリアへの影響を軽減するために、合成界面活性剤の濃度が低い製品を選び、使用量を微量にし、使用頻度を減らします。また、毎日の使用ではなく、週に数回にとどめるなどの工夫が有効です。
2. 洗顔料を使用した洗顔後は合成界面活性剤配合製品を単独で使用しない：
合成界面活性剤配合の乳液やクリーム、美容液などを単独で使用すると、洗顔料でダメージを受けた皮膚バリアにさらにダメージを与えるため、避けてください。使用する場合は、リノール酸含有のエマルジョン化粧品を洗顔後すぐに使用し、その後で併用することで、皮膚バリアを保護しつつ、必要な潤いを提供できます。
これにより、合成界面活性剤配合の製品の使用による影響を相殺できます。洗顔料を使用した洗顔後は、皮膚バリア機能と角質水分保持力を維持するために、皮膚バリアを補強することが重要です。

これらのポイントを考慮することで、海森水で皮膚バリアを改善しながら、合成界面活性剤配合の乳液やクリーム、美容液などを効果的に併用することができます。